



2020年11月4日

各位

会社名 株式会社ワールド  
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝  
 (コード番号: 3612 東証第一部)  
 問合せ先 副社長執行役員 中林 恵一  
 (TEL: 03-6851-4830)

## 第2四半期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2020年8月5日に公表しました2021年3月期第2四半期累計期間の業績予想につきまして、本日発表の実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせします。

### 1. 2021年3月期 第2四半期(累計)業績予想数値と実績値の差異(2020年4月1日~2020年9月30日)

	売上収益	コア営業利益	営業利益	税引前 四半期利益	四半期利益 (親会社の所有者 に帰属)
前回発表予想(A)	百万円 74,892	百万円 △10,323	百万円 △16,989	百万円 △17,496	百万円 △13,351
実績値(B)	79,075	△8,379	△14,454	△14,928	△11,099
増減額(B-A)	4,183	1,943	2,534	2,567	2,252
増減率(%)	5.6	—	—	—	—
(ご参考) 前第2四半期実績 (2020年3月期 第2四半期)	117,677	6,981	8,037	7,591	6,028

### 2. 差異の理由

第2四半期連結累計期間につきましては、プラットフォーム事業の収益が引き続き底堅く進捗したうえ、主にブランド事業において収益が計画を上回りました。ブランド事業では、2020年春夏商品の在庫換金を進めたことから、売上総利益率が悪化したものの、既存店売上とEC売上の計画超過に加えて、きめ細かな経費コントロールが引き続き奏功したことで、本業の稼ぐ力であるコア営業利益が想定以上に改善しました。

また、構造改革費用において、希望退職者の増加で一時費用が増えたものの、退店交渉における低収益店舗での賃料減額やブランド変更に伴う代替出店などで退店費用がそれ以上に減りました。加えて、持分法投資損益で㈱ナルミヤ・インターナショナル等の想定以上の業績回復が寄与し、営業利益並びに税引前四半期利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益がいずれも前回公表した業績予想を上回りました。

なお、通期の業績予想及び、期末の配当予想につきましては、2020年8月5日付けの公表計画を据え置くことといたします。これは、第一に、第3四半期以降もコロナ禍の影響が依然として先行き不透明であること、第二に、仮に下半期が従来計画とおりに達成できそうな場合、来期以降の収益正常化を確実なものにできるよう、多方面での先行投資を検討していく方針であること、が理由です。

なお、当社では、コロナ禍の発生を受けて、当下半期以降の正常な収益力への回復を掲げ取り組んでおります。このため、社内では引き続き下半期も利益面を中心に従来計画の達成を目指しており、また、構造改革の効果フル寄与する来期において正常な収益力を実現できるよう、これまでと同じ時間軸で収益回復に努める見解・方針に変更はございません。

以上